



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年9月29日

上場会社名 株式会社アダストリア 上場取引所 東  
コード番号 2685 URL <https://www.adastria.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 治  
問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員 管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 岩越 逸郎 (TEL) 03-5466-2060  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年10月23日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	132,896	18.0	10,311	85.1	10,639	72.8	7,094	82.2
2023年2月期第2四半期	112,578	21.6	5,570	781.6	6,157	296.5	3,893	767.3

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 8,224百万円(50.3%) 2023年2月期第2四半期 5,472百万円(774.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	156.15	—
2023年2月期第2四半期	85.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	121,523	67,956	54.7
2023年2月期	111,392	60,762	53.3

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 66,486百万円 2023年2月期 59,407百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2024年2月期	—	35.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	11.3	18,000	56.3	18,200	51.3	12,000	59.1	263.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	48,800,000株	2023年2月期	48,800,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	3,284,608株	2023年2月期	3,449,391株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	45,432,240株	2023年2月期2Q	45,294,805株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	13
(1) ブランド・地域別売上高の状況	13
(2) 商品部門別売上高の状況	13
(3) 店舗出退店等の状況	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 連結業績

	2023年2月期 第2四半期 連結累計期間 (2022年3月1日から 2022年8月31日まで)	2024年2月期 第2四半期 連結累計期間 (2023年3月1日から 2023年8月31日まで)	増減	増減率
売上高 (百万円)	112,578	132,896	20,318	18.0%
営業利益 (百万円)	5,570	10,311	4,741	85.1%
経常利益 (百万円)	6,157	10,639	4,481	72.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	3,893	7,094	3,200	82.2%

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行したことに伴い、行動制限や海外からの入国制限が大幅に緩和され、経済・社会活動の正常化が進みました。また、所得環境の緩やかな改善などを背景に個人消費は回復傾向が続き、ファッション関連の消費意欲も底堅さを継続しました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、為替の変動、国際的なインフレなど経済の先行きは不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは中期経営計画において以下の成長戦略を策定し、着実に推進しております。

成長戦略Ⅰ マルチブランド、カテゴリー	ブランドの役割に応じたグルーピングによる収益改善と成長の両立
成長戦略Ⅱ デジタルの顧客接点、サービス	自社ECの成長加速と楽しいコミュニティ化
成長戦略Ⅲ グローカル	中国大陸でのモデル展開と東南アジア開拓
成長戦略Ⅳ 新規事業	飲食事業確立と新たな魅力の獲得

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が1,328億96百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益が103億11百万円（前年同期比85.1%増）、経常利益が106億39百万円（前年同期比72.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が70億94百万円（前年同期比82.2%増）となりました。

アパレル・雑貨関連事業の国内売上高につきましては、第1四半期に引き続き外出機会の増加とファッションのカジュアル化の追い風に加え、季節やトレンドに対応した商品展開、ヒット商品の育成、高付加価値化による商品価格の見直しを進めた結果、前年同期比16.0%の増収となりました。

デジタル戦略として、自社EC「ドットエスティ」とリアル店舗を連動させたプロモーションや、人気キャラクターや他社とのコラボ商品の販売、他社商材の取り扱いによる品揃えの拡充などを進めたことで、自社ECの会員数は前期末比100万人増の1,650万人に伸ばしました。また、EC専門子会社の株式会社BUZZWITが前期第2四半期から子供服ECの株式会社オープンアンドナチュラル（現 株式会社BUZZWIT）を連結子会社化したことも寄与し、EC売上高は前年同期比14.1%増となりました。

海外売上高（円換算）について、中国大陸では前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響があったことや新規出店した店舗の寄与により、前年同期比126.5%の増収となりました。台湾でも前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響があったことや、マルチブランド戦略に沿った新規出店により、51.2%の増収となりました。米国では、景気の先行き不安感から卸売事業がやや減速しましたが、10.0%の増収となりました。香港は前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響があったことや、値引きの抑制などにより27.7%の増収となり、海外事業全体では37.7%の増収となりました。

その他（飲食事業）の売上高に関しましては、外食産業における原材料価格や光熱費の上昇、人手不足など厳しい経営環境が続きましたが、来店客数は徐々に回復の動きが見られ、29.2%の増収となりました。

収益面につきましては、円安による原価上昇の影響が続きましたが、「適時・適価・適量」の商品提供による在庫コントロールと値引き販売の抑制、商品の高付加価値化、商品価値とのバランスを考慮した商品の価格見直しにより、収益性の改善を図りました。また自社ポイントの制度変更による一過性のポイント失効などの影響や、海外事業の収益性改善により、アパレル・雑貨関連事業の売上総利益率は改善しました。その他（飲食事業）においては、原価上昇の影響などにより売上総利益率が低下しましたが、連結での売上総利益率は56.3%となり、前年同期比0.5ポイント改善しました。

販売費及び一般管理費につきましては、従業員の処遇改善や売上高の伸長により、人件費、店舗家賃、カード手数料などが増加しましたが、増収効果により販管費率は48.6%と前年同期比2.2ポイント改善し、営業利益は前年同期比85.1%増と大きく伸長しました。

また、為替差益2億10百万円を営業外収益に、店舗の減損損失53百万円を特別損失に計上しました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

#### ①アパレル・雑貨関連事業

上記の状況の結果、売上高は1,264億78百万円、セグメント利益は105億81百万円となりました。

店舗展開につきましては、61店舗の出店（内、海外16店舗）、18店舗の退店（内、海外1店舗）の結果、当第2四半期連結累計期間末における店舗数は、1,478店舗（内、海外110店舗）となりました。

#### ②その他（飲食事業）

その他（飲食事業）につきましては、売上高は64億41百万円、セグメント利益は57百万円となりました。

店舗展開につきましては、4店舗の出店、4店舗の退店の結果、当第2四半期連結累計期間末における店舗数は、74店舗となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて、101億31百万円増加して1,215億23百万円となりました。これは主に、現金及び預金が49億19百万円、受取手形及び売掛金が16億30百万円、棚卸資産が15億68百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、29億38百万円増加して535億67百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が27億70百万円、未払法人税等が8億8百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、71億93百万円増加して679億56百万円となりました。これは主に、自己株式が4億91百万円減少（純資産は増加）した一方で、利益剰余金が54億96百万円、繰延ヘッジ損益が5億70百万円それぞれ増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて、49億27百万円増加して212億70百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、117億95百万円（前年同期は53億93百万円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額が26億12百万円あった一方で、税金等調整前四半期純利益が105億85百万円、減価償却費が45億4百万円それぞれあったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、47億69百万円（前年同期は37億34百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が32億51百万円、無形固定資産の取得による支出が14億72百万円それぞれあったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、24億54百万円（前年同期は24億91百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が2億円、配当金の支払額が15億97百万円、リース債務の返済による支出が6億28百万円それぞれあったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前述の通り当第2四半期連結累計期間において業績が好調に推移し、2023年4月4日に公表いたしました通期の連結業績予想を超える見通しとなったことから、2024年2月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「2024年2月期通期連結業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および年間配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,380	21,299
受取手形及び売掛金	12,171	13,801
棚卸資産	24,679	26,248
その他	2,622	2,460
貸倒引当金	△81	△92
流動資産合計	55,772	63,718
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	6,000	6,736
その他(純額)	16,064	17,342
有形固定資産合計	22,065	24,078
無形固定資産		
のれん	1,331	1,219
その他	10,577	11,005
無形固定資産合計	11,908	12,224
投資その他の資産		
投資有価証券	1,108	1,166
敷金及び保証金	13,545	13,690
その他	7,289	6,942
貸倒引当金	△298	△298
投資その他の資産合計	21,645	21,501
固定資産合計	55,619	57,805
資産合計	111,392	121,523
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,280	16,050
電子記録債務	6,990	6,441
短期借入金	197	—
1年内返済予定の長期借入金	375	423
未払金	12,114	11,702
未払法人税等	2,970	3,779
賞与引当金	2,112	2,736
ポイント引当金	160	108
その他の引当金	779	299
その他	5,008	4,744
流動負債合計	43,989	46,285
固定負債		
長期借入金	554	507
引当金	—	62
その他	6,084	6,712
固定負債合計	6,639	7,281
負債合計	50,629	53,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	7,213	7,213
利益剰余金	55,968	61,464
自己株式	△7,286	△6,795
株主資本合計	58,555	64,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	134
繰延ヘッジ損益	△120	450
為替換算調整勘定	877	1,358
その他の包括利益累計額合計	852	1,943
非支配株主持分	1,355	1,470
純資産合計	60,762	67,956
負債純資産合計	111,392	121,523

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	112,578	132,896
売上原価	49,797	58,034
売上総利益	62,780	74,861
販売費及び一般管理費	57,210	64,549
営業利益	5,570	10,311
営業外収益		
為替差益	460	210
受取保険金	—	101
助成金収入	182	22
雇用調整助成金	37	—
その他	140	155
営業外収益合計	819	489
営業外費用		
支払利息	85	123
デリバティブ評価損	106	—
その他	40	38
営業外費用合計	232	161
経常利益	6,157	10,639
特別損失		
減損損失	10	53
特別損失合計	10	53
税金等調整前四半期純利益	6,146	10,585
法人税、住民税及び事業税	1,962	3,398
法人税等調整額	1	53
法人税等合計	1,963	3,452
四半期純利益	4,183	7,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	289	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,893	7,094

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	4,183	7,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	38
繰延ヘッジ損益	684	570
為替換算調整勘定	526	481
その他の包括利益合計	1,289	1,090
四半期包括利益	5,472	8,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,091	8,117
非支配株主に係る四半期包括利益	381	106

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,146	10,585
減価償却費	3,935	4,504
減損損失	10	53
のれん償却額	121	112
受取利息及び受取配当金	△6	△13
支払利息	85	123
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	242	615
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△139	△51
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,072	△1,521
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,690	△1,331
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,408	2,092
未払金の増減額 (△は減少)	△175	△999
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△59	227
その他	△498	103
小計	8,314	14,511
利息及び配当金の受取額	8	19
利息の支払額	△85	△123
法人税等の支払額	△2,843	△2,612
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,393	11,795
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,712	△3,251
無形固定資産の取得による支出	△1,614	△1,472
投資有価証券の取得による支出	△20	△9
敷金及び保証金の差入による支出	△415	△522
敷金及び保証金の回収による収入	1,890	572
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△839	—
その他	△23	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,734	△4,769
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△165	△200
長期借入れによる収入	200	200
長期借入金の返済による支出	△521	△200
配当金の支払額	△1,369	△1,597
自己株式の取得による支出	△92	△35
リース債務の返済による支出	△493	△628
その他	△49	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,491	△2,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	609	355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△222	4,927
現金及び現金同等物の期首残高	16,863	16,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,640	21,270

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社オープンアンドナチュラルは、2023年7月1日付で、当社の連結子会社である株式会社BUZZWITを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	107,610	4,968	112,578	—	112,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	17	18	△18	—
計	107,610	4,985	112,596	△18	112,578
セグメント利益	5,869	288	6,157	—	6,157

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント利益には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	126,477	6,418	132,896	—	132,896
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	22	23	△23	—
計	126,478	6,441	132,920	△23	132,896
セグメント利益	10,581	57	10,639	—	10,639

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント利益には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域		当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
		売上高(百万円)	構成比(%)	
	グローバルワーク	25,231	19.0	16.9
	ニコアンド	16,321	12.3	13.0
	スタディオクリップ	11,215	8.4	13.8
	ローリーズファーム	11,141	8.4	11.2
	レブシム	6,735	5.1	7.5
	ジーナシス	5,680	4.3	20.7
	ベイフロー	5,277	4.0	8.9
	ラコレ	5,263	4.0	48.6
	その他	17,932	13.4	14.5
当社 計		104,798	78.9	15.3
株式会社BUZZWIT (注) 3		5,526	4.2	35.3
株式会社エレメントルール		5,311	4.0	7.8
その他連結子会社		427	0.2	312.6
国内合計		116,063	87.3	16.0
	香港	1,745	1.3	27.7
	中国大陸	1,968	1.5	126.5
	台湾	2,769	2.1	51.2
	タイ	83	0.1	—
	米国	3,846	2.9	10.0
海外合計		10,413	7.9	37.7
アパレル・雑貨関連事業合計		126,477	95.2	17.5
株式会社ゼットン (注) 4		6,203	4.7	32.4
株式会社ADASTRIA eat Creations		215	0.1	△24.1
その他(飲食事業)合計		6,418	4.8	29.2
グループ合計		132,896	100.0	18.0

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。  
2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。  
3. 株式会社BUZZWITの売上高は、同社の連結子会社であった株式会社オープンアンドナチュラルを含めて集計しております。なお、2023年7月1日付で、株式会社BUZZWITを存続会社、株式会社オープンアンドナチュラルを消滅会社とする吸収合併を実施しております。  
4. 株式会社ゼットンの売上高は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。

## (2) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	19,604	14.8	16.0
レディース(ボトムス・トップス)	80,628	60.7	16.2
雑貨・その他	32,663	24.5	24.1
合計	132,896	100.0	18.0

- (注) 1. 雑貨・その他は、契約負債の計上額やポイント引当金繰入額等が含まれております。  
2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。

## (3) 店舗出退店等の状況

ブランド・地域		店 舗 数					
		前連結 会計年度末	当第2四半期連結累計期間				当第2四半期 連結累計期間末
			出店	変更	退店	増減	
	グローバルワーク	205	8	—	△2	6	211
	ニコアンド	141	2	—	△1	1	142
	スタディオクリップ	174	7	—	△1	6	180
	ローリーズファーム	129	2	—	△2	—	129
	レプシム	114	1	—	△1	—	114
	ジーナシス	71	—	—	—	—	71
	バイフロー	61	1	—	△1	—	61
	ラコレ	63	8	—	—	8	71
	その他	264	6	—	△4	2	266
当社 計		1,222	35	—	△12	23	1,245
株式会社BUZZWIT (注) 3		29	1	—	△2	△1	28
株式会社エレメントルール		81	5	—	△3	2	83
その他連結子会社		8	4	—	—	4	12
国内合計		1,340	45	—	△17	28	1,368
	香港	21	1	—	△1	—	21
	中国大陸	13	1	—	—	1	14
	台湾	52	12	—	—	12	64
	タイ	—	1	—	—	1	1
	米国	9	1	—	—	1	10
海外合計		95	16	—	△1	15	110
アパレル・雑貨関連事業合計		1,435	61	—	△18	43	1,478
株式会社ゼットン (注) 4		71	4	—	△1	3	74
株式会社ADASTRIA eat Creations		3	—	—	△3	△3	—
その他(飲食事業)合計		74	4	—	△4	—	74
グループ合計		1,509	65	—	△22	43	1,552

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。
2. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含めて集計しております。
3. 株式会社BUZZWITの店舗数は、同社の連結子会社であった株式会社オープンアンドナチュラルを含めて集計しております。なお、2023年7月1日付で、株式会社BUZZWITを存続会社、株式会社オープンアンドナチュラルを消滅会社とする吸収合併を実施しております。
4. 株式会社ゼットンの店舗数は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。